

手術後の注意

1. 麻酔から完全に覚めるには、時間がかかります。ケージを屋内に入れて翌朝までケージから外に出さずに休ませてください。自由に動けるようにしたら高いところから落ちたり、狭い所を通り縫ってある糸が切れ感染症で死亡することがあります。
2. 麻酔が完全に覚める前に飲食すると、誤嚥して窒息したり、肺炎を起こす危険性があります。餌、水は手術翌日から通常どおりに与えてください。手術後1週間位は体調に合わせて少しずつ普通の生活に戻してください。手術後はエネルギーの消費量が低下しますので、今までより10～15%餌の量を減らして、肥満防止に気を付けてください。
3. 点滴で抗生剤を投与していますので、化膿止め等の薬の服用は不要です。
4. 絆創膏は自然にはがれます。無理に取る必要はありません。絆創膏でかぶれた時は手で取るか、食用油を周りにつけて取ってください。神経質な猫では絆創膏をはがして傷口をなめようとする場合があります。そういう時には、腹巻をするか、服を着せるか、リードを短くしてつなぎ、動物の口が傷口に届かないようにして下さい。絆創膏がはがれてしまっても、傷口がふさがっているときは問題ありません。(メスのみ)
5. 皮膚の縫合には合成吸収糸を使用しています。自然にとれますので抜糸の必要はありません。遅ければとれるまでに、2～3カ月かかります。シャンプーは手術後2週間以上経ってからにしてください。糸はついていてもかまいませんが、手術部位は強くこすらないでください。
6. 疑問点心配なことがありましたら、連絡いただくか、動物を連れてご来院ください。手術中は電話対応できかねます。留守電にお名前とご用件、電話番号をお入れください。手が空き次第折り返しご連絡致します。

閉院後は携帯にご連絡ください。留守録にお名前とご用件をお入れください。

電話 072-461-1252
携帯 090-1909-8228

時間 午前9時30分から11時まで
午後4時から5時まで
休み 月金及び月1回土日